

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 89

学校名・団体名	倉吉市立北谷小学校
HPアドレス	http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/kitadani-e/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	北谷の宝「緑豊かな自然」を引き継ぎ、手渡そう
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校は、周りを山と田畑に囲まれた緑豊かな地域にあり、地域の「ひと・もの・こと」とつながりながら、緑の少年団活動をはじめ、一人一鉢運動、しいたけ栽培、里山植林活動等を行っている。</p> <p>昨年度は緑の森サミットに参加し、今年度ははじめには、鳥取県代表として「高田松原再生記念植樹会」に参列し、被災した岩手県陸前高田市の状況を見聞きし、記念植樹を通して「被災地の緑の復興」に協力した。</p> <p>本校児童は、自分たちの役割は現在の地域の豊かな自然を受け継ぎ、繋いでいくことであると強く感じ、そのため活動を考え、実行していくとともに、他地域との交流をとおして自分たちの活動の輪を広げたいと考えており、その活動を支援することで豊かな自然を引き継ごうという思いを強くすることにつながると考えている。</p>	

<活動・研究報告>

1 活動内容		
活動時期	活動内容	備考
4月	しいたけ収穫（通年） ・校地内に5年生児童が中心となってしいたけ園を整備しシイタケの育成・収穫を通年で行う。	
5月	作物栽培（夏野菜の植付） ・1,2年生、5,6年生、特別支援学級が夏野菜を植付 さつまいも苗植（全校児童） 一人一鉢（ペチュニア、ひまわり栽培）（全校児童）	作物や花の栽培は地域の専門農家が協力 サツマイモ植付は地域のボランティアと一緒にいる
6月	ひまわり種蒔 ・5年生が全校児童に呼びかけを行い、なかよし班（異学年グループ）活動として本校のシンボルフラワーであるひまわりの種植える 菜の花の種採取	
7月	夏野菜の収穫、試食会 秋収穫野菜の植付（小豆 落花生等）（5年生） ※11月に行われる地域の文化祭で活用	作物や花の栽培は地域の専門農家が協力
9月	クヌギ、コナラの栽培（苗を購入） 作物の収穫、畑の整備（4,5年生）	
10月	白菜植付（3,4年生） ※キムチ作りの材料	
11月	地域への活動発表（地域で行われる文化祭等） 一人一鉢（なでしこ、パンジー栽培） しいたけ、収穫作物（落花生）の販売	
12月	里山植樹活動に関する学習・作業（枝の伐採等） 一人一鉢（なでしこ、パンジー栽培） しいたけ菌の接種 白菜キムチをつくる	里山活動は地域の林業専門家が協力 しいたけ植菌は地域の専門家、県林業所管課職員とともに作業 白菜キムチは地域専門家が協力
2月	林業体験学習（4,5年生） 期日 2月28日 会場 鳥取県林業試験場、旧山形小学校（鳥取県智頭町） 内容 林業に関する作業、木材市場の見学 林業体験、木工体験（箸づくり）	
～3月	里山植樹活動に関する学習・作業（枝の伐採等）	里山活動は地域の林業専門家が協力

2 成果

(1) 子どもたちへの成果

○地域の豊かな地域の自然の継承者としての自覚の育成

- ・1年間を通して作物の栽培やシイタケ栽培・植菌作業等を体験し、地域の特色でもある農業や里山について学びその保護や継承の大切さを考え、行動する機会になった。
- ・特に5、6年生は学校の中心となって緑を守るための実践的な活動を行うとともに自校の児童のみならず、地域の方に対する発信を行い、地域の方から賞賛を受け、自分たちの北谷を大切にしようという自覚が育った。
- ・4年生は里山整備活動を行い、来年度の活動の担い手として自覚が生まれる体験ができた。

○豊かな自然を守り、発展させるための技術の体験（本物に触れる体験）

- ・林業試験場等の見学は里山で育てられる木材に係る作業や流通について学習し、児童にとっては新たな発見のある機会として大切な活動になった。
- ※他地域（西粟倉町小学校児童との交流）は、時期等が合わず今年度は行うことができなかった。

(2) 地域への影響

○子どもたちの活動による地域の活性化

- ・様々な活動において地域の専門家や関係者の協力を得ることができ、児童の学びを広げるとともに子どもたちの活動を地域に発信することができた。
- ・小さな植林活動、植物の栽培活動であるが、緑の森の保全につながると考えられる。